

乙第35号証

# 報 告 書

平成29年6月30日

大東市上下水道局 様

大阪府中央区谷町4丁目4番15号  
株式会社 関西コンサルタント  
代表取締役 林 信 行



灰塚配水場ポンプ室築造工事の建築設備工事費積算洩れの経緯について、以下のとおりご報告いたします。

## 記

- 1 灰塚配水場ポンプ室築造工事の設計業務におきまして、建築設備工事の図面作成後、工事費積算のための設計書作成段階において、計上漏れが発生しました。その原因は、建築設計業務を意匠、構造、建築設備と複数の工種担当に分担し、業務遂行していたのですが、設計書の作成段階において、各担当者間の責任分担の確認が不十分であったため、各担当者とも、他の担当者が設計書を作成しているとの思い込みにより、計上漏れが発生いたしました。
- 2 1の計上漏れは、2013年10月2日の当該工事入札前の9月25日に、弊社担当者が 建築工事の設計書における建築設備工事費の計上洩れを発見しましたので、即日設備工事業者へ見積を聴取し、概算工事費を積算後、大東市上下水道局に参上し、その旨を報告し、その場にて概算工事金額（直接工事費ベースで約400から500万円）をお伝えしました。その後、計上漏れを修正し、同年10月4日見直し後の設計書を提出いたしました（増加見積額は直接工事費4,165,891円増で、直接工事費の追加に伴い、共通仮設費281,870円増、現場管理費693,366円増、一般管理費493,750円増、当初の「設計書」工事総括表2ページ目工事価格欄千円止め241円と「変更設計書」工事総括表2ページ目工事価格欄千円止め118円との差額による123円増となり、消費税281,750円を加算し、合計5,916,750円増となりました）。

以上